



**milk**  
知識情報・図書館学類誌

## MILK 編集部員募集中!

知識情報・図書館学類生であれば誰でも歓迎します。  
私たちと一緒に学類誌「MILK」を作ってみませんか?  
ミーティングは毎週木曜日 18:10~  
場所は随時 Twitter にてお知らせします!

[http://klis.tsukuba.ac.jp/klis\\_milk/](http://klis.tsukuba.ac.jp/klis_milk/)  
@KLISMILK  
klis.milk@gmail.com

**milk**

知識情報・図書館学類誌

No.8  
December, 2015

NEWS TOPIC 拡大版  
**受験生のための  
筑波大学説明会**  
その全容とスタッフ体験記

つくば Hot Spot!  
**筑波実験植物園  
に行ってみよう**

**サービスに特化した図書館  
印刷の歴史を知ろう**



宇宙、製薬、漫画…。

ある分野に特化して、企画や資料収集をしている施設があります。

子どもに特化した『渋谷区立笹塚子ども図書館』、  
ビジネス分野に特化した『葛飾区立中央図書館』、  
医療情報に特化した『横浜市立中央図書館』の

取材協力

渋谷区立中央図書館館長 田山さん

渋谷区立笹塚子ども図書館職員 上智さん

葛飾区立中央図書館職員 森さん

葛飾区立中央図書館員 桶谷さん

横浜市中央図書館職員 飯塚さん

文·裝飾 彼島、星

写真 菊池、白井

M ..... Management

I ..... Information

L ..... Library

K ..... Knowledge

2007 年の創刊以来、学類生ならではの目線で学類生に有益な情報を  
年 2 回(7 月・12 月)お届けしています。

## CONTENTS

## 印刷の歴史を知ろう

NEWS TOPIC

# 受験生のための筑波大学説明会 その全容とスタッフ体験記

つくば Hot Spot!

## 筑波実験植物園に行ってみよう

## 編集後記

「ビジネス支援に特化させよう」と思った  
さっかけを教えてください。」  
森さん（以下、森）「五年ほど前、図書館で  
区民の課題解決を支援するサービスという  
ものを展開して、『ビジネス支援』・  
『法律情報』・『医療健康情報』の三本柱のう  
ちの一本である、『ビジネス支援』サービ  
スをやってみようということで始めました。」  
桶谷さん（以下、桶谷）「現在は、毎月の相  
談会と、ビジネスセミナーや講演会を行っ  
ています。事業計画書の作成や、ワーク  
シヨップなど。去年は会計・経営に役立  
つセミナーを開きました。いろいろな分野  
のセミナーを行えるよう努めています。」  
「データベースがとても豊富ですね。」  
森「ビジネスに関連しているものだと、会  
社の情報を調べられる『朝日新聞蔵』ビ  
ジュアル』や、『田経アソシエーツ』  
『D-Law.com』のほか、『Japan Knowledge  
Lib』も使えます。」  
「コーナーやセミナーにはどういった方が  
いらっしゃるのですか。」



▲グループ研究室。18歳以上の図書館利用登録者  
であれば申請すれば誰でも利用可能。



桶谷「先日の相談会で、確か企業「コンク  
ール」に応募する方がいらつきました。」  
森「三十代のビジネスマンだけでなく、若  
い方から年配の方まで幅広く利用されてい  
ます。大学生も就活や資格での利用が多い  
です。『定年退職したけどもつと稼きたい』  
みたいな方も。男性だけではなく、女性の  
方もたくさんいらついています。」  
「圖書の分類の仕方が独特ですね。」  
桶谷「ここ独自のものです。葛飾区は零細  
企業が多いので...」  
森「セミナーで社長支援をしているのも  
うちだけですね。中小企業の社長さんと呼  
んで、会社について説明してもらう企画  
です。キュービー人形や球体関節人形を作  
られている会社の社長さんとか、去年は  
杉野コムという、海底探査ロボット『江  
戸っ子一号』を作った会社の社長さんに来  
ていただいたり。」  
「地域がらに合わせた情報を提供できるよ  
うに工夫しているんですね。」  
「森さん、桶谷さん、ありがとうございます。」



## 渋谷区立笹塚こども図書館

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 3-3-1

開館時間 午前10時～午後5時（休館日 月曜日・第2木曜日）

[https://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/hp/intro\\_kan10/top/kan-sasako-top.html](https://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/hp/intro_kan10/top/kan-sasako-top.html)



▲ペットボトルと空き箱で  
作られたガシャポン。

「この図書館ができたきっかけを覚えてく  
ださい。」  
田山さん（以下、田山）「ここはもとも学  
童館でした。その跡地を、子育て・子育て  
のために使おうと、この図書館ができた  
た。団体貸し出しやレファレンスに応じ  
たり、イベントを開いたりして、読書推進の  
環境をつくっています。」  
「この図書館に対象年齢はありますか。」  
田山「小学校までくらいですね。保護者の  
方も対象に、子育て・料理・健康の本など  
を揃えています。児童図書数だけなら区立  
の中では3番目になります。」  
「館内の装飾などのアイデアはどのよう  
にして生み出されるのですか。」  
上智さん（以下、上智）「ここには保育士や、  
学校の司書だった方などがたくさんいるん  
です。皆さん勉強熱心で、街中で見つけた  
ものなどからヒントを得ています。」  
「平日より休日の方が利用は増えますか。」  
上智「そうですね。平日は百名超え、休日  
は二百名ほどです。」  
「『お名前カード』というものがあまし  
たが、それと利用登録は別ですか。」  
上智「ええ、別です。カードは誰でも自由



に使えます。利用登録は東京都に在住、在勤  
在学の方が可能です。」  
「子どもと接するにあたって気を付けてい  
ることはありますか。」  
上智「図書館員としてはもちろん、自分の  
子に接するように見えていますね。他の図書  
館とは違って静かにしなさいいけないわけ  
ではなく、なるべくリラックスしたり、  
コミュニケーションをとったりして、本に  
親しんでもらうよう心がけています。」  
「本を読むだけでなく、学習に力を入  
れられているように感じます。」  
田山「図書館の大きな機能の二本柱が『読書』  
と『調べもの』で、前者は読書推進、後者  
はワークショップという形でやっています。  
行事の数はここがダントツです。準備は大  
変ですが、いろんな努力も、子どもたちに  
本に親しんでもらって、読書で力をつけて  
ほしいという、大人の願いがあるからこそ  
です。いつもスタッフに言っているん  
ですけど、主役は利用者の方なんです。な  
ので、利用者、ここでは子どもたちが楽し  
く本を選んで読めるようにしなければいけ  
ません。」  
「田山さん、上智さん、ありがとうございます。」



## 葛飾区立中央図書館

〒125-0042 東京都葛飾区金町 6-2-1 ヴィナシス金町プラザコート 3 階

開館時間 月～土 午前9時～午後10時

日曜・祝日 午前9時～午後8時（休館日 毎月第4木曜日）

[https://www.lib.city.katsushika.lg.jp/libguide\\_0001guide.html](https://www.lib.city.katsushika.lg.jp/libguide_0001guide.html)

横浜市内に 18 館ある図書館から少し離れた地域を巡回している移動図書館。停留所（ステーション）は 21 か所あり、2 週間に 1 回の周期で月に 2 回訪れる。

●「乗せる本は地域によって変えています」

はまかぜ号は基本的には子供に向けた移動図書館であるが、ビジネスパーソンが多いみなとみらいでは、ビジネスに関する本を比較的多く積み、会社の昼休みの時間に合わせて開く。八景西や南日吉など親子での利用者が多い地域では子供向けの絵本を多く積み、午後から夕方にかけて開く。…など、選書の基準は地域に合わせて変えている。

## 移動図書館「はまかぜ号」



## 医療・健康情報コーナー



キーワード： ①探す ②確かめる ③拡がる

①探す…自分でほしい情報にたどりつく

医療・健康に関連する資料は約 900 冊に及び、入門書から専門書まで幅広く取り揃えている。その資料の分類は細かく、約 27 種類に及ぶ。

②確かめる…治療法や処方薬を確認する

エビデンス（科学的根拠）に基づいた「診療ガイドライン」などの参考資料を所蔵。医療関連の論文検索ができる「医中誌 web」も利用可能。

③拡がる…「一人じゃない」と安心する

実際に闘病した方やその家族によってつづられた「闘病記」や特定の病気の患者やご家族で組織されている「患者会」の資料を所蔵。

今年は「医療・健康情報フェスタ 2015」を開催。大学などの専門機関、区役所と連携して講座や展示を行い、利用者に多様な情報の提供を行う。

### 「図書館海援隊」をご存知ですか？

貧困・困窮者問題支援や市民と地域の様々な問題を解決するための情報提供を目的とした、有志の図書館で結成された団体。参加館は 49 館（平成 24 年）で、図書館海援隊で連携し、参加館相互の情報交換が可能。

横浜市立中央図書館の取り組み：司書がカウンターに常駐し、レファレンスサービスを提供。過去に受けたレファレンスをアーカイヴし、公開。



## 横浜市立中央図書館

〒220-0032 神奈川県横浜市区老松町 1

開館時間 火～金 午前 9 時 30 分～午後 8 時 30 分

土曜・日曜・月曜・祝（休）日 午前 9 時 30 分～午後 5 時

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/chiiki/central/>

「横浜市の図書館って調べれば調べるほどいろいろなサービスがありますよね。このように多様なサービスを提供し始めたきっかけを教えてください。」

飯塚「横浜市が専門職として採用を続けているのが大きいと思います。他の自治体で、公務員として事務で入った方が図書館に移動してきて、数年経ったらまた他の方が移動してくるので、なかなか（知識や経験を）蓄積できないんですよ。それに比べると横浜市の図書館というのは、新人の方が入ってきて司書としてある程度経験を積んできた先輩がたくさんいらっしゃるし、それまでに積み上げてきているバスターンダーや調べ方・答え方を教えてもらいつつ、過去の色々なものも自分で学ぶから、多分専門職としての意識が高いのかもしれない。」

今、委託や指定管理が入ってきているから、専門職がいる図書館ならではのサービスを打ち出していないと生き延びることが出来ない、っていうのがあるのかな。より市民の人の役に立つ図書館、図書館があつてよかった『司書さんすごいよね』って言われることが大事なんです。東京都だつて、司書採用やめて合併するかも、図書館無くすかも、つやあってるし、大阪も図書館が無くなるかもしれないし、神奈川県立図書館も一個いらなんじゃない？って言われてる。でもやっぱり憲法上の市民の知る権利を守らなきゃいけないから、図書館は生き残らなければいけない。横浜では図書館を知の情報拠点として考えているから、

その中から色々なサービスが生まれてくるんじゃないかな。だからかな、研修で名刺交換するときも『あつ、横浜の司書さんなんですか』『すごい！』って言われたり。（笑）

「『格が高い！』みたいな？」

「横浜（の図書館）がいろんなサービスをしているイメージが他の図書館にもあるんじゃない？ね。医療コーナーやサイエンスカフェのような町内情報拠点サービスというサービスもやっていて、『仕事上で欲しいデータがあれば図書館に相談してください』って、まずは内輪の人たちに図書館を使ってもらえるようにしています。」

「業者委託などによって、図書館は民間の本屋との区別がなくなっていますよね。」

「委託では結局数年ごとに変わっていきますので継続できない部分があります。それが入ることサービスを見直す機会もできるから、ただ悪いだけじゃないけど。直営だからって胡坐をかくんじゃなく、常に新しいサービスを探していかなくてはなりません。」

飯塚さん、ありがとうございます。



MAP

# 印刷の歴史を知ろう

貴重な資料で印刷の歴史を紹介している**印刷博物館**―多彩な魅力を持つ印刷について触れてみませんか。

(記事担当：橋口)



印刷と来館者のかかわりを「かんじる」、プロログゾーン。印刷がヴィジュアル・コミュニケーション・メディアの一つであることを感じてもらいたい。

## 印刷との出会い。



◎**百万塔陀羅尼**「相輪陀羅尼」(700)

印刷された年代が記録に残る、現存世界最古の印刷物です。764年から770年にかけて孝謙天皇は国家の安泰を願い、陀羅尼を100万枚印刷せるとともに、木製の三十小塔一つ一つに納め、法隆寺などの寺に分置させました。印刷された陀羅尼には、根本・相輪・六度・自心印の4種類があります。これが印刷された方法については、木版と銅版(銅凸版)の2種類のうちのどちらかであると考えられますが、未だ確定されていません。



◎**阿弥陀如来坐像印仏・摺仏**(平安末期)

阿弥陀如来の坐像を印として版木に彫り、はんこを押すように何度も紙に印仏と1枚の版木に何体もの阿弥陀如来の坐像を彫って炭をつけ、その上に紙を置いて摺り移した摺仏です。京都浄瑠璃寺の九体阿弥陀坐像の胎内から見つかったものであり、現在確認されている仏教版画の中で国内最古のものとなります。



◎**鯨絵「太平安心之為」**(1855)

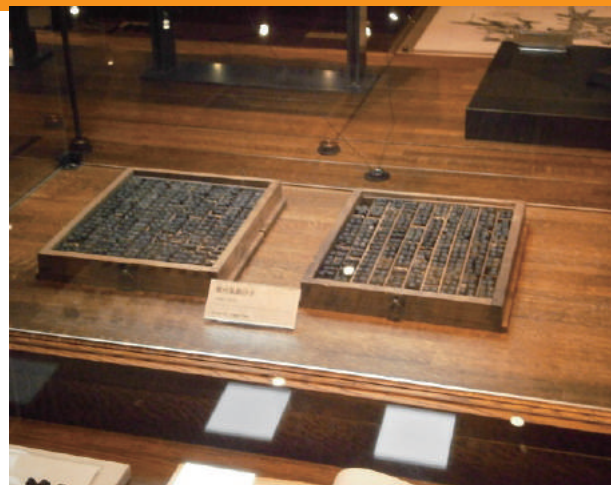
鯨絵とは、安政2年に江戸で起こった安政の大地震の直後に江戸を中心に大量に発行された多色摺木版画です。地震が起きる原因は鯨であると信じていた当時の人々は鯨を擬人化して描き、鯨が懲らしめられているものを地震除けの護符としていました。現在、鯨絵は確認できるものだけでも250点を超えており、当時はこれをはるかに超える数の鯨絵が発行されたと考えられます。



◎**中国民間版画(現代)**

中国で古くから製作され、現代にいたるまで受け継がれている民間版画です。中国の人々は、この版画を門や扉・かまどのそばに貼って、災難や病魔除け・商売繁盛などを祈っていました。大きいものは畳1畳分くらいから、小さいものは郵便切手くらいものまであります。また、かつては木版印刷でしたが、半世紀前頃には石版印刷によるものが主となりました。近年は樹脂版印刷やオフセット印刷がほとんどとなっています。

## 文字を活かす。



◎駿河版銅活字 (1606-1616)

徳川家康が朝鮮伝来の銅活字をもとに林羅山と金地院崇伝に命じて作らせた、日本で最初の銅製活字です。1606年から1616年にかけて、京都伏見と駿府（現在の静岡県市）で3度にわたり、総数11万本あまりが製造されました。その後の火災により、大半が焼失してしまったため、現存するのは約3万8000本です。「武」ではなく、「文」の力により国を治めようとした家康の功績を現世に伝える貴重な資料でもあります。



◎グーテンベルク「42行聖書」原葉 (1455年頃)

グーテンベルクが最初に印刷した聖書の原葉です。当時の書体が長方形のマスであり、グリッド化できるところがポイントです。文字それぞれを単独にして、相互性を持たせ、組み合わせることを可能にしたデジタル的発想の始めとなります。これを可能にするために正確な矩形である鋳型を各文字共通に使用しました。

## 色とかたちを写す。



◎萬獸魚介図譜 (1718)

日本では江戸時代の後期に、人々は遠い異国に対する知識を飛躍的に深めました。そのきっかけとなったのが、オランダの医学者・動物学者ヨンスンが記した、この『萬獸魚介図譜』なのです。初めて目にする動物や魚、昆虫などが銅版印刷によって豪華かつ精密に描かれており、それらの図版は数々の蘭書に引用されました。当時の知識人へ大きな影響を与えた1冊です。

◎紅毛雑話 (1787)

著者の森島中良は江戸時代中期の蘭学者で、森羅万象の名で戯作者としても知られています。本書は、幕府医官であった兄の桂川甫周が来日していたオランダ人から聞いた話や、蘭学者の集まりで交わされた会話を基に記された随筆集で、当時の蘭学者たちの日常的な話題が集められたものとなっています。

かんかん



### 印刷工房「印刷の家」

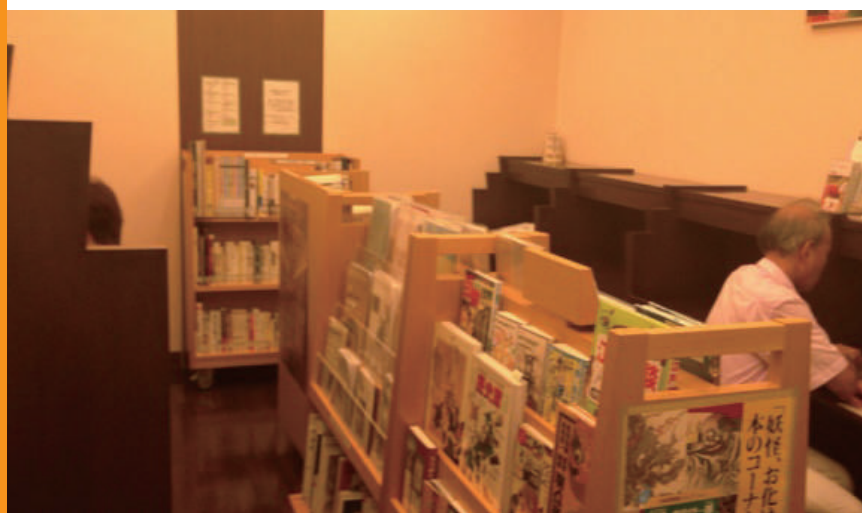
「つくる」をテーマに掲げた、実際に印刷を体験できる参加型の展示。各種ワークショップを開催し、活版印刷を中心とした印刷を行う「創作」中心の活動を展開している。

## ライブラリ

## アクセス

印刷博物館には閉架式の図書館があります。国内外の印刷関連図書・雑誌の専門図書館として、印刷の歴史や社会的な背景、表現などを含めた印刷文化に関する一般的な資料をはじめとし、印刷博物館展示品・収蔵品に関する資料や図書、印刷等をモチーフにしている小説等も無料公開しています。

- ・地下鉄有楽町線 江戸川橋駅（4番出口）より8分
- ・都営バス「上99」 上野公園〜春日駅前〜小滝橋車庫「大曲」、「東五軒町」下車 いずれも徒歩約3分



# NEWS TOPIC

知識情報・図書館学類や知識情報学に関するニュースをご紹介します！

2015年8月8日。この日筑波大学春日エリアでは、学類生による受験生のための一大イベントが開催された。知識情報・図書館学類年度受験生のための筑波大学説明会。受験生の未来によりそう企画とそれに携わる学類生の全容を、編集部員による実際の体験談とともに紹介していきたい。

(記事担当〓菊池)  
(写真提供・取材協力〓)  
知識情報・図書館学類大学説明会実行委員会



▲学類長挨拶のようす。学類の求める人材や入試形態に関する説明が行われた

## NEWS TOPIC 拡大版 知識情報・図書館学類 2015年度 受験生のための筑波大学説明会 その全容とスタッフ体験記



▲パネルディスカッション。入試体験談や生活について

入試体験談や生活について  
学生がプレゼン  
ーパネルディスカッション

1年生の委員・スタッフが入試体験について話すパネルディスカッションは、大学説明会の目玉企画である。毎年春日講堂にて行われるこの企画には多くの知識情報・図書館学類をめざす高校生が参加し、入場が制限されることもある。パネルディスカッションでは、AC入試・推薦入試・前期理系・前期文系と各形態1人ずつプレゼンテーションが行われる。たくさんの人を収容する春日講堂での発表ということもあり、発表者も緊張の面持ちで臨んでいた。



▲相談コーナーのようす

### 受験生の不安に応えます ー相談コーナー

大学説明会スタッフにとってもっとも大きな仕事の一つとなるのが、この相談コーナーであろう。知識情報・図書館学類を志望する高校生やその保護者の方の疑問に、学類生のスタッフが対面式で答える。昨年までは入試形態別に相談を受ける体制をとっていたが、今年度は受付で相談内容を聞き、それに合わせて適任のスタッフを選ぶ体制に変更された。質問される内容は学類の講義や入試に関するだけでなく、住環境のことやつくばでの生活についてのことなど、多岐にわたる。



▲スチューデント・トーク。高校生も真剣なまなざし

パネルディスカッション以外にも、大学説明会では様々な企画が催されている。学生生活のディープな話題に関するプレゼンテーション企画のスチューデント・トークや、スタッフが春日エリアを案内するキャンパスツアー、実際に知識情報・図書館学類の講義が体験できる模擬授業、学類紹介ビデオ、教員インタビュー映像の放映や学類パンフレット、学類生が入試対策に実際に用いた書籍などの展示を行う映像放映・資料展示など、委員やスタッフの創意工夫が凝らされたラインナップになっている。また各教室の見回りや各会場で参加者の案内をすることも、委員・スタッフの一つの大切な仕事である。

### ほかにも企画が目白押し



▲オープンラボのようす

### スタッフ体験談

今年、M3編集部で大学説明会スタッフ体験した2人の体験談を掲載する。2年連続で大学説明会にスタッフとして参加しました。1年目はスチューデント・トークでの発表、2年目は映像企画を主に担当しました。入学前に大学説明会に参加していた受験生が後輩になっていて、「スチューデント・トークのプレゼンテーションを見ました」と声をかけてもらえたときは嬉しかったです。(菊池)

私が担当した相談コーナーでは、受験生やその保護者の方が様々な相談事をされていきました。去年必死で頑張っていたことを思い出すとともに、自分の大学生活を見直す良い機会になったと思います。(彼島)



▲模擬講義。今年は高久雅生先生による「デジタルドキュメント」

### 大学説明会 実行委員長より

大学説明会実行委員長・2年の伊藤洋平さんより委員やスタッフに興味のある学類生へのメッセージをたずねた。

知識の大学説明会は説明会実行委員会という10人ほどの委員たちが企画し、40人位の当日ボランティアスタッフとともに運営しています。自分たちで未来の後輩になるかもしれない人を相手にすることは責任重大ですがその分「昨年の大説行きました」という新入生を見られることが最大の喜びになります。高校生の頃大説に来た人も来てない人も、ぜひ委員やスタッフに参加して知識に興味を持つてもらえるような作ってみませんか？もしもは、そのお手伝いをしませんか？



▲映像放映・資料展示

## 編集後記



今号から編集長です(そんなバカな)こんなマイペースでよいのだろうか(多分よくない)研究室紹介号、KLIS TODAY の MILK 記事もよろしくお願いします(土下座)

(菊池ゆとり/2年)



今号で編集部3年は最後です寂しい！新体制 MILK 編集部を今後も宜しくお願いします！

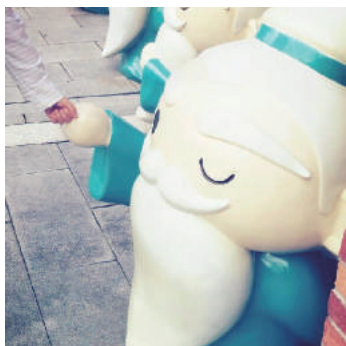
(高森桃子/3年)



MILK 卒業の号となりました。

頼もしい後輩により、これから MILK はさらに発展していくと思われまふ。ご愛読のほど、よろしくお願いします！

(橋口奈央/3年)



台湾の孔明廟で孔明さんとグータッチしてきた。可愛かったです。

(横田夏海/3年)



素敵な学類誌ができるよう、みなさんの力になりたいと思います！

(白井華奈/2年)



目次、裏表紙担当しました。何時でも、どんな事も、わりかし何とかなるんじゃないかと思ひながら生きてます(笑)

(塗木健二/2年)

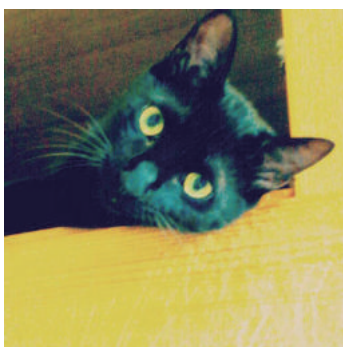
## Credit

知識情報・図書館学類誌 MILK 第8号  
●発行者 長谷川秀彦(知識情報・図書館学類長)  
●発行日 2015年12月1日  
●編集長 菊池ゆとり  
●編集部 高森桃子 橋口奈央 横田夏海 白井華奈 塗木健二 彼島瑞生 星穂波  
●協力 葛飾区立中央図書館 笹塚こども図書館 横浜国立中央図書館 印刷博物館 知識情報・図書館学類 説明会実行委員会 国立科学博物館 筑波実験植物園



“サービスに特化した図書館”の記事を担当した彼島です。次は外国の図書館に進出したい。

(彼島瑞生/1年)



引きこもりがちとかガチの引きこもりなので、取材ということで(自費で)いろいろな所へ行けたのはいい刺激になりました。

(星穂波/1年)



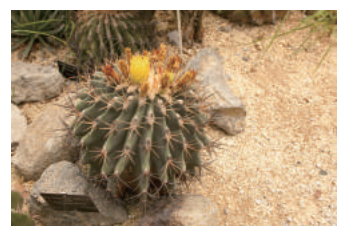
▲お庭でもよく見るサルビアの花



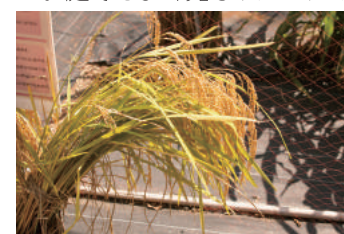
▼▲サバンナ温室のサボテン



▲水生植物温室にて



熱帯雨林温室では、食虫植物も…?! ▲



▲▼食用植物コーナーにて



## つくば Hot Spot!

### 庭の草花から地球の裏側の大木まで 筑波実験植物園に行ってみよう

春日エリアから東大通り沿いに15分。絶好の癒しスポット、筑波実験植物園をご存知ですか？4つの温室と19の区域に、約300種類の植物がみられる自然のユーティピア。しかもここ、筑波大学の学生であれば無料で入園できちゃっんです。冬を越したら、もつすぐ春。世界中の植物が一堂に集った筑波実験植物園に、友人や家族といっしょに足を運んでみませんか。

(記事担当・菊池)

筑波実験植物園内に入って、まず最初に目につくのは4つの温室群です。サバンナ温室・熱帯雨林温室・水生植物温室・熱帯資源植物温室の4つからなるこの温室群では、ふだん日本ではめったにみられないような貴重な植物の展示を行っています。入ってすぐのサバンナ温室では、アフリカアメリカ、オーストラリア、アジアの乾燥地に生息する植物たちをみることが出来ます。特にサボテンの花は、色とりどりで綺麗。まさに「砂漠の花」といった様相です。熱帯雨林温室では、アジアの熱帯雨林の植物がみられます。ちよっとエキゾチックな色合いのランたちや、ハエトリソウやウツボカズラのような食虫植物たちも。ちなみに、一時期開花で話題になった世界最大の花、シヨクダイオオコンニャクもこちらの温室。水生温室の大きな池では、熱帯の湿地や湖沼の水生植物とマングローブ植物がみられます。どこか奥



### 国立科学博物館 筑波実験植物園

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

開園時間: 9:00~16:30(入園は16:00まで)

休園日: 毎週月曜日

(祝日・休日の場合は開園)

祝日・休日の翌日

(土日の場合は開園)

年末年始

Web: <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

ゆかしい雰囲気の水草たちと、しじみと流れる水の音で癒されるとうけあい。熱帯資源植物温室では、バナナ、パニナなど、熱帯の食用、薬用、香料、観賞用としておなじみの植物を見ることが出来ます。温室のほかにも、常緑広葉樹林、温帯性針葉樹林、筑波山の植物エリアなど、19のエリアがあるこの植物園。お休みの日のちよっとした休息に、行ってみてはどうでしょうか。